

(新) 国立公園自然風景地再生推進計画調査費 48百万円(0百万円)

自然環境局国立公園課

1. 事業の概要

- (1) 景観法の制定に見られるように、日本の美を再認識するとともに、地域ぐるみでの景観保全・形成の取組が重視されている。
- (2) 我が国を代表する傑出した自然の風景地である国立公園は、自然景観資源を保全しつつも、日本の美に接することにより感動を体験することができる場として期待が大きい。
- (3) しかし、時代の変化とともに自然景観資源が損なわれている例も少なくない。(例：展望のきかなくなった展望地、本来の景観を失った里地・里山、老朽化した施設、放置された廃屋等)
- (4) 本事業では、モデル地域において、地域と一体となって自然景観資源を見直し、当該地域の将来像を描きながら、景観再生を中心とした総合的な自然風景地再生推進計画を策定し、自然と共生する地域作りを支援する。

2. 事業計画

平成17年度	自然風景地再生モデル地区(3地区)選定 現況調査、課題の抽出
平成18年度	モデル地区における再生計画(案)策定
平成19年度	モデル地区におけるモデル事業の試験的实施・評価 モデル地区における再生計画策定

3. 施策の効果

モデル地区において自然風景地再生推進計画が策定され、その結果、当該地区における自然公園等事業、グリーンワーカー事業、地方自治体による地域振興に関する事業及び関係NPO並びに地域住民による活動の方針が定まり、風景地の再生が推進できる。

また、モデル地区における検討結果を踏まえ、全国的に同様の課題を抱える国立公園の自然風景地の再生を順次推進できる。

国立公園自然風景地再生推進計画調査費

自然景観資源の現状

展望がきかない展望地



本来の景観を失った里地・里山



老朽化施設

廃屋等・廃棄物の集積等

本来の魅力が喪失

国立公園自然風景地再生推進計画調査

- ◆ 自然景観資源の現況、利用者ニーズ等の調査
- ◆ 地域住民等の参画(意見交換会など) / 専門家による検討会

地域景観の演出

- ・ どう見せるか
- ・ どう楽しんでもらうか

自然風景地再生推進計画

自然景観資源の再生・活用

自然公園の活性化

きめ細やかな利用環境整備

国際化・バリアフリー化など

地域主体の管理体制

グリーンワーカー事業など



観光立国！ 地域再生！

魅力あふれる国立公園

